

ヘルスプロモーション論

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・鈴木るり子

科目担当者（職位・氏名）：講師・松岡真紀子、助教・石田知世、助教・磯島実奈
非常勤講師・会田薫子

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽
科目記号：37

■ 授業概要

ヘルスプロモーション活動の歴史・目的、根拠となる理論と施策、地域における健康づくり支援を目的とした様々な活動の実際について学び、看護職の役割と機能に関し必要とする知識について教授する。

■ 到達目標

1. ヘルスプロモーションの概念と行動戦略について理解し、説明できる。
2. ライフステージや健康レベルに基づいたヘルスプロモーション活動を、活動領域に基づいて理解し、説明できる。
3. 身近な場のヘルスプロモーション活動について考察することができる。

■ 教育内容

健康支援と社会保障制度、公衆衛生看護活動展開論

■ キーワード

ヘルスプロモーション、プライマリヘルスケア、社会的決定要因、プリシード・プロシードモデル、健康政策、健康行動理論、危機理論、ヘルスリテラシー、ヘルスコミュニケーション、ソーシャルネットワーク、ソーシャルキャピタル、ソーシャルサポート

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ガイダンス ヘルスプロモーションの歴史、目的 国際的動向および健康政策	ガイダンス オタワ憲章・バンコク憲章 WHOの動向および健康政策 社会的決定要因	鈴木
2	ヘルスプロモーションの5つのプロセス戦略 と活動方法	バンコク憲章の5つのプロセス戦略 オタワ憲章で提案された5つの活動の方法 (講義・演習)	石田
3	ヘルスプロモーションの理論とその活用	1. 健康教育に必要な理論 2. 健康行動に必要な理論 3. ヘルスリテラシー 4. ヘルスコミュニケーション	松岡
4	ヘルスプロモーションと倫理	1. ヘルスプロモーションとケア・スピリット 2. ヘルスコミュニケーションと意思決定 支援	会田
5	ライフステージ別におけるヘルスプロモーション①	グループワーク 親子へのヘルスプロモーション	共同
6	ライフステージ別におけるヘルスプロモーション②	グループワーク 1. 成人へのヘルスプロモーション 2. 高齢者へのヘルスプロモーション	共同
7	グループワーク	事例検討	共同
8	発表	グループワークの成果発表	共同

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

試験 60%、グループワーク 40%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

希望者に対して試験のフィードバックを行う。希望者は、試験日以降 2 週間以内に、事前にアポイントを取った上で、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

- ・市村久美子、島内憲夫編（2018）『ヘルスプロモーション 新体系看護学全書 別巻』メヂカルフレンド社

■ 参考書・参考資料等

- ・清水哲郎著（2022）『医療・ケア従事者のための哲学・倫理学・死生学』医学書院
- ・健康社会学研究会編監（2016）『事例分析でわかるヘルスプロモーションの「5つの活動」』ライフ出版社
- ・島内憲夫他訳（2013）『ヘルスプロモーション-WHO：オタワ憲章』垣内出版
- ・福田洋、江口泰正編著（2016）『ヘルスリテラシー 健康教育の新しいキーワード』大修館書店
- ・近藤尚己著（2016）『健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点』医学書院
- ・立花良之著（2016）『母親のメンタルヘルス サポートブック 気づいて・つないで・支える 多職種地域連携』医歯薬出版

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・事前学修：シラバス該当箇所のテキストおよび参考資料を読了しておくこと。
 - ・事後学修：配布資料を確認し、理解に努めること。
- 事前・事後学修は、各 45 分程度行うこと。

■ 担当教員からのメッセージ

ヘルスプロモーションは、全ての人に関わる概念です。ヘルスプロモーションがどのように推進されているのか、具体的な事例をもとにお話しします。身近な社会情勢に目を向けながら、授業に参加してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 12、rsuzuki★iwate-uhms.ac.jp、授業日 17:00 まで。事前に連絡して訪問してください。
(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

保健師・研究職

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

公衆衛生の領域での保健師実務経験を活かし、ヘルスプロモーション活動に関する概念や活動展開の枠組みに合わせた具体的な活動展開について講義するとともに、身近な健康問題に基づいた活動展開をグループワークで検討します。